



**プロジェクター モニタリング ソフトウェア**  
**Ver. 1.1**

---

**使用説明書**

---

## はじめに

---

「プロジェクター モニタリング ソフトウェア」(以下本ソフトウェア)は、ネットワークに接続したキャノン製の対応プロジェクターをネットワーク経由で一元管理できるソフトウェアです。最大254台までのプロジェクターについて、動作状態の表示やメンテナンス情報の管理を行うことができます。

本書では、本ソフトウェアの導入と日常操作について説明しています。

・ Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、.NET Framework は、米 国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。

---

## 目次

---

<b>第 1 章 導入時の操作 .....</b>	<b>3</b>
1.1 導入の流れ .....	3
1.2 ソフトウェアの動作環境 .....	4
1.3 対応するプロジェクター .....	4
1.4 ソフトウェアのインストール .....	5
1.5 ソフトウェアのネットワーク設定 .....	6
1.5.1 ソフトウェアを起動する .....	6
1.5.2 探索設定を行う .....	6
1.5.3 更新間隔を設定する .....	11
<b>第 2 章 日常の操作 .....</b>	<b>12</b>
2.1 ソフトウェアを起動する .....	12
2.2 ソフトウェアを終了する .....	12
2.3 メイン画面について .....	13
2.4 プロジェクターグループリストの操作 .....	14
2.4.1 プロジェクターグループについて .....	14
2.4.2 プロジェクターグループを作成する .....	14
2.4.3 プロジェクターグループの設定内容を変更する .....	16
2.4.4 プロジェクターグループを削除する .....	17
2.5 プロジェクターリストの操作 .....	18
2.5.1 プロジェクターの情報を見る .....	18
2.5.2 コメントを入力する .....	19
2.5.3 プロジェクターの設定画面を表示する .....	20
2.5.4 プロジェクターリストを設定する .....	20
2.5.5 プロジェクターを探索する .....	21
2.5.6 プロジェクター情報を更新する .....	21
2.5.7 プロジェクターのプロトコルを設定する .....	22
<b>第 3 章 付録 .....</b>	<b>23</b>
3.1 困ったときは .....	23
3.2 WUX10 における使用上の注意事項 .....	25

# 第1章 導入時の操作

## 1.1 導入の流れ

本ソフトウェアを導入するときは、次の流れで準備作業を行います。

### 1 管理用コンピューターの準備

ネットワークに接続された管理用コンピューターを用意します。LAN に接続されたプロジェクターを管理できます。

ネットワークがサブネットで管理されている場合は、管理用コンピューターに対象プロジェクトへアクセス可能なネットワーク設定を行ってください。詳しくは、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

### 2 プロジェクターの準備

管理対象のプロジェクターをネットワークに接続し、ネットワーク設定を行います。また、SNMP プロトコルを使用する場合は、プロジェクター側で SNMP の設定が必要です。プロジェクターの設定操作については、各プロジェクターの使用説明書を参照してください。

### 3 ソフトウェアのインストール

管理用コンピューターに本ソフトウェアをインストールします。  
(→ P.5 「1.4 ソフトウェアのインストール」)

### 4 ソフトウェアのネットワーク設定

探索するプロトコル設定と更新間隔設定を行います。  
(→ P.6 「1.5 ソフトウェアのネットワーク設定」)

## 1.2 ソフトウェアの動作環境

本ソフトウェアを使用するには、次の動作環境が必要です。

項目	必須環境
OS	Microsoft Windows XP SP3 (32-bit) Microsoft Windows Vista SP2 (32-bit) Microsoft Windows 7 SP1 (32-bit / 64-bit)
対応言語	日本語、英語
CPU	Intel Prentium 4 2.4GHz 以上
メモリ	1GB 以上
ディスプレイ	XGA 以上
.NET Framework	Windows XP: .NET Framework 2.0 SP1 以上 Windows Vista : .NET Framework 3.0 以上 Windows 7 : .NET Framework 3.5 以上 (.NET Framework 4.0 では動作しません。)

## 1.3 対応するプロジェクター

本ソフトウェアに対応するプロジェクターは以下のとおりです。

WUX10、WUX10Mark II、SX80Mark II、WUX4000、WUX5000、LV-7375、  
LV-7370、LV-7275、LV-8300  
(2012年2月現在)

### Note

- WUX10 の場合は、P.25 「3.2 WUX10 における使用上の注意事項」 を参照してください。
- LV-7375、LV-7370、LV-7275、LV-8300 の場合は、P.9 「LV シリーズ (LV-7375、LV-7370、LV-7275、LV-8300) の場合」 を参照してください。

## 1.4 ソフトウェアのインストール

本ソフトウェアは、次の手順でインストールを行います。インストールするときは、コンピューターの管理者権限でログインしてください。

**1** 本ソフトウェアのインストーラーを起動します。  
「PMS 1.1.EXE」ファイルをダブルクリックし、本ソフトウェアのインストーラーを起動します。

**2** インストーラーの画面メッセージに従って、インストールを行います。

本ソフトウェアはプロジェクターと通信を行う必要があるため、インストール時に Windows ファイアウォールへの登録を行ってください。

次の画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



### Note

- すでに旧バージョン (ver.1.0.0) がインストールしてある場合、旧バージョンをアンインストールする必要はありません。本バージョン (ver1.1) をインストールすることで上書きされます。また、使用していたデータ等は保存されたままとなるので、今までの設定を継続して使用できます。
- .NET Framework のバージョンエラーが表示された場合は一旦インストールを中止し、Windows のアップデートで最新の .NET Framework をインストールしてから、本ソフトウェアのインストールをやり直してください。
- アンインストールする場合は、[スタート] メニューの [コントロールパネル] から [プログラムの追加と削除] を開き、本ソフトウェア名を選択して [削除] を実行します。

## 1.5 ソフトウェアのネットワーク設定

本ソフトウェアのインストールが終わったら、ソフトウェアを起動して探索するネットワークの探索設定を行います。

### 1.5.1 ソフトウェアを起動する

- 1 スタートメニューの[すべてのプログラム] から [Projector Monitoring Software] の「Projector Monitoring Software」を選択します。

本ソフトウェアのメイン画面が表示されます。

### 1.5.2 探索設定を行う

プロジェクターを探索するネットワークの範囲を設定します。「SNMP V1/V2c/V3」と「LV シリーズ」の場合で設定内容が異なります。使用するプロトコルについて、それぞれ設定を行ってください。

#### ■ SNMP V1/V2c/V3 の場合

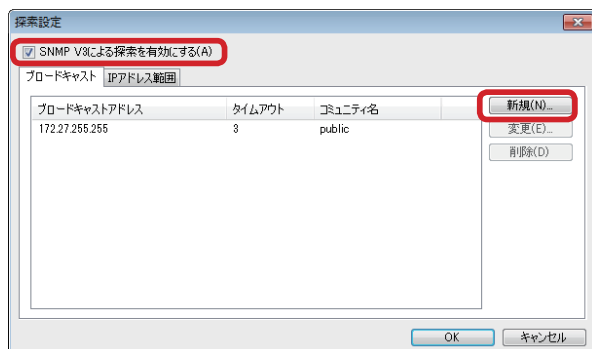
「SNMP V1」 / 「SNMP V2c」 / 「SNMP V3」を使用する場合は、ブロードキャストアドレスやIP アドレス範囲を指定して探索することができます。使用するプロトコルを選択して探索範囲を設定してください。

SNMP V1/V2c/V3 を設定する場合は、次の手順で操作します。いずれも同様の操作で設定することができます。ここでは、SNMP V3 の画面を例に説明しています。

- 1 [オプション] メニューの[探索設定] で設定するプロトコル名（[SNMP V1] / [SNMP V2c] / [SNMP V3]）を選択します。

「探索設定」画面が表示されます。

- 2 [(プロトコル名) による探索を有効にする] にチェックマークを付けます。使用しないプロトコルの場合は、チェックマークを外します。



### 3 ブロードキャストアドレスを設定する場合は、[ブロードキャスト] タブを選択して [新規] ボタンをクリックします。

「ブロードキャスト探索の設定」画面が表示されます。

#### Note

- 探索範囲リストには、初期設定として管理用コンピューターのネットワークカードに設定されているブロードキャスト設定が表示されます。

### 4 すべての項目に必要な事項を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

ブロードキャスト探索の設定

ブロードキャストアドレス(B) 0 . 0 . 0 . 0

コミュニティ名(C) public

タイムアウト(T) 3 秒 (1~9)

パスワード(P) ●●●●●●●●

☐ 暗号化を有効にする(E)

OK キャンセル

項 目	説 明
ブロードキャストアドレス	探索するネットワークのブロードキャストアドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
コミュニティ名	コミュニティ名を半角英数記号 15 文字以内で入力します。
タイムアウト	タイムアウト秒数を 1 ～ 9 の数字で入力します。
パスワード (SNMP V3 のみ)	パスワードを半角英数記号 8 ～ 15 文字で入力します。
暗号化を有効にする (SNMP V3 のみ)	暗号化している場合はチェックを付けます。暗号化していない場合はチェックを外します。

### 5 IP アドレス範囲を指定する場合は、[IP アドレス範囲] タブを選択して [新規] ボタンをクリックします。

探索設定

☒ SNMP V3による探索を有効にする(A)

ブロードキャスト IPアドレス範囲

開始アドレス 終了アドレス タイムアウト コミュニティ名

新規(N)...

変更(E)...

削除(D)

OK キャンセル

「探索範囲の設定」画面が表示されます。

## 6 すべての項目に必要な事項を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

項 目	説 明
開始アドレス	探索する IP アドレス範囲の開始アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
終了アドレス	探索する IP アドレス範囲の終了アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
コミュニティ名	コミュニティ名を半角英数記号 15 文字以内で入力します。
タイムアウト	タイムアウト秒数を 1 ～ 9 の数字で入力します。
パスワード (SNMP V3 のみ)	パスワードを半角英数記号 8 ～ 15 文字で入力します。
暗号化を有効にする (SNMP V3 のみ)	暗号化している場合はチェックを付けます。暗号化していない場合はチェックを外します。

### Note

- 入力内容に不足や不正な値がある場合は、エラーメッセージが表示され、登録することはできません。入力内容を修正してください。
- [OK] ボタンをクリックする前に [×] (閉じる) ボタンをクリックしたり、[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、入力内容が無効となります。
- 探索範囲を修正する場合は、探索範囲リストの項目を選択して [変更] ボタンをクリックすると、設定内容を変更できます。
- 不要な探索範囲を削除する場合は、探索範囲リストの項目を選択して [削除] ボタンをクリックすると、選択した探索範囲を削除できます。



■ LV シリーズ (LV-7375、LV-7370、LV-7275、LV-8300) の場合  
LV シリーズの場合は、探索するプロジェクターの IP アドレスを入力します。

### Note

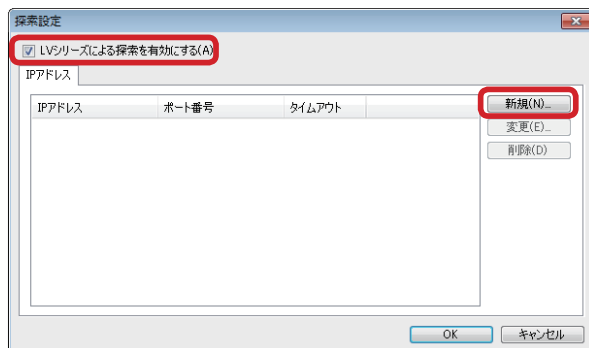
- LV シリーズの場合は、ブロードキャストアドレスや IP アドレス範囲で探索することはできません。
- LV シリーズでは、プロジェクターの IP アドレスを固定して運用することをお勧めします。DHCP による自動割当を設定している場合は、プロジェクターの IP アドレスが変わるたびに、本ソフトウェアの再設定が必要になります。
- LV-7375、LV-7370、LV-7275、LV-8300 以外の LV シリーズ機種は対応しておりません。

LV シリーズを設定する場合は、次の手順で操作します。

## 1 [オプション] メニューの [探索設定] で設定する [LV シリーズ] を選択します。

「探索設定」画面が表示されます。

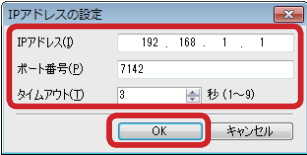
## 2 [LV シリーズによる探索を有効にする] にチェックマークを付けます。 使用しない場合は、チェックマークを外します。



## 3 [IP アドレス] タブの [新規] ボタンをクリックします。

「IP アドレスの設定」画面が表示されます。

4 すべての項目に必要な事項を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



項 目	説 明
IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
ポート番号	使用するポート番号を半角数字で入力します。初期値は「7142」になっています。
タイムアウト	タイムアウト秒数を 1 ～ 9 の数字で入力します。

- Note** .....
- ・ 入力内容に不足や不正な値がある場合は、エラーメッセージが表示され、登録することはできません。入力内容を修正してください。
  - ・ [OK] ボタンをクリックする前に [×] (閉じる) ボタンをクリックしたり、[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、入力内容が無効となります。
  - ・ IP アドレスを修正する場合は、探索範囲リストの項目を選択して [変更] ボタンをクリックすると、設定内容を変更できます。
  - ・ 不要な IP アドレスを削除する場合は、探索範囲リストの項目を選択して [削除] ボタンをクリックすると、選択した探索範囲を削除できます。
  - ・ プロジェクターの IP アドレスを変更した場合は、プロジェクターが 2 重に表示される場合があります。その場合は、古い IP アドレスのプロジェクターを削除してください。
  - ・ LV シリーズは、本ソフトウェアとプロジェクターとの「入力」の名称表示が異なります。入力名称は、下表をご覧ください。

本ソフトウェアの入力表示	プロジェクターの入力名称
COMPUTER(RGB)1	Computer1
COMPUTER(RGB)2	Computer2(Analog)
DIGITAL 1	Computer2(Digital)
VIDEO1	VIDEO
S-VIDEO1	S-VIDEO

### 1.5.3 更新間隔を設定する

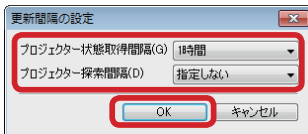
本ソフトウェアでは、初期設定としてプロジェクター探索間隔が「指定しない」、プロジェクター情報の更新間隔が「1 時間」に設定されています。

更新間隔を変更する場合は、次の手順で行います。

#### 1 [オプション] メニューの [更新間隔の設定] を選択します。

「更新間隔設定」画面が表示されます。

#### 2 プロジェクター情報およびプロジェクター探索の更新間隔を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



項 目	説 明
プロジェクター 状態取得間隔	プロジェクター情報を更新する間隔を「10 分 / 15 分 / 30 分 / 1 時間 / 指定しない」から選択します。「指定しない」を選択した場合は、[表示] メニューの [プロジェクター状態の更新] による手動更新のみとなります。
プロジェクター 探索間隔	新たなプロジェクターを探索する間隔を「1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 24 時間 / 指定しない」から選択します。「指定しない」を選択した場合は、[表示] メニューの [プロジェクターの探索] による手動更新のみとなります。

#### Note

- ・ [OK] ボタンをクリックする前に [×] (閉じる) ボタンをクリックしたり、[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、入力内容が無効となります。

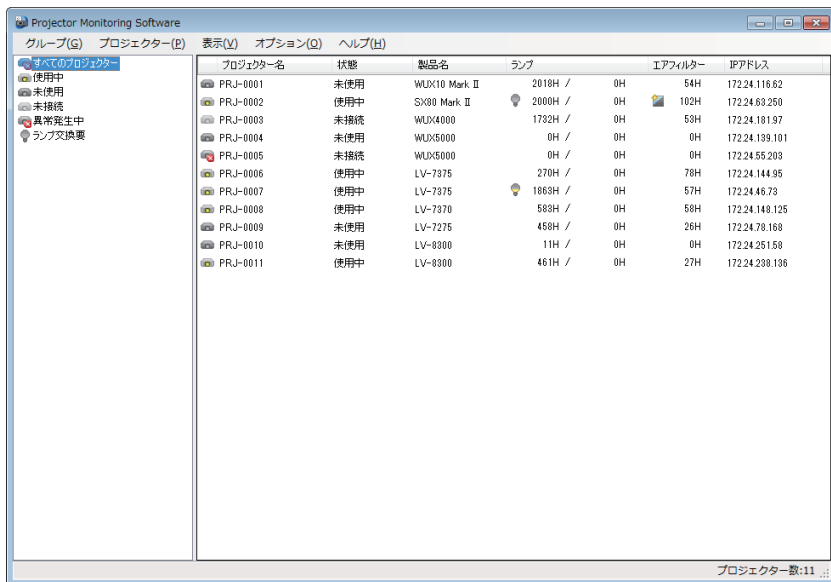
# 第2章 日常の操作

## 2.1 ソフトウェアを起動する

本ソフトウェアを起動するときは、次の手順で操作します。

- 1 スタートメニューの [すべてのプログラム] から [Projector Monitoring Software] の「Projector Monitoring Software」を選択します。

メイン画面が表示され、プロジェクターグループと認識されたプロジェクターの情報が表示されます。



## 2.2 ソフトウェアを終了する

本ソフトウェアを終了するときは、次の手順で操作します。

- 1 [グループ] メニューの [終了] を選択します。

プロジェクターやグループの情報が保存され、ソフトウェアが終了します。

### Note

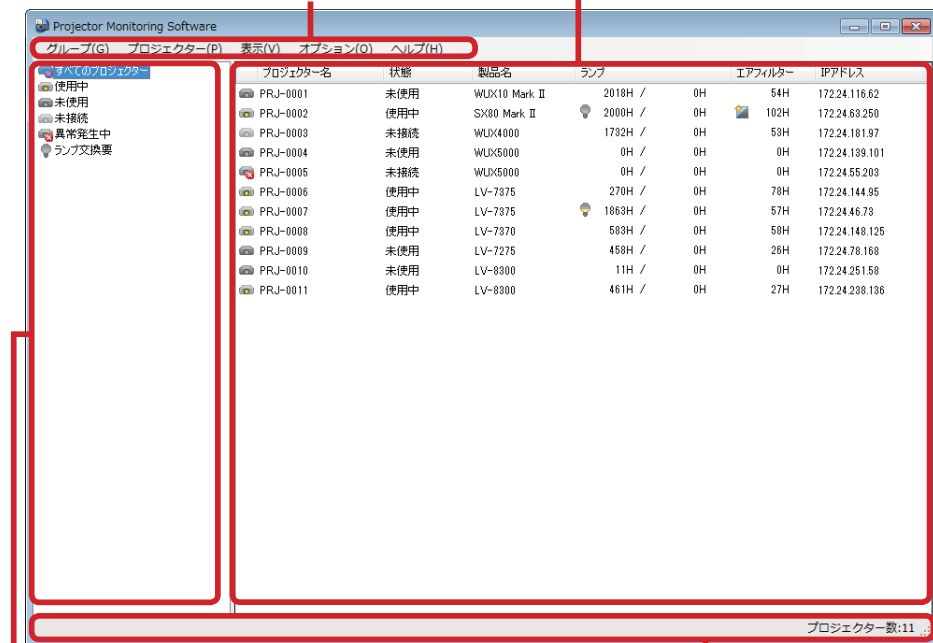
- ・ ウィンドウ右上の [×] ボタンや [Alt] キー + [F4] キーで終了することもできます。

## 2.3 メイン画面について

メイン画面には、次の内容が表示されています。操作方法については、参照ページをご覧ください。





メニューバー

プロジェクターリスト (→ P.18)



プロジェクターグループリスト (→ P.14)

ステータスバー

名 称	説 明
メニューバー	機能メニューが表示されます。
プロジェクターグループリスト	プロジェクターのグループが表示されます。 グループを選択すると、そのグループに該当するプロジェクターの情報が、プロジェクターリストに表示されます。
プロジェクターリスト	プロジェクターの状態を示すアイコンと、名称、設定情報、メンテナンス情報などが表示されます。アイコンは、次の状態を示しています。  : 未接続  : 未使用  : 使用中  : 異常発生中 項目名をクリックすると、その項目で昇順または降順でリストを並べ替えることができます。 項目名を右クリックすると、項目の表示／非表示を選択できます。
ステータスバー	プロジェクターの数やソフトウェアの処理状況が表示されます。

## 2.4 プロジェクターグループリストの操作

### 2.4.1 プロジェクターグループについて

本ソフトウェアでは、ネットワーク上のプロジェクターをグループ分けして管理することができます。プロジェクターグループには次の種類があります。

種 類	説 明
標準グループ	デフォルトで設定されているグループで、管理するプロジェクターの状態に応じて自動的に分類されます。標準グループには、「すべてのプロジェクター」「使用中」「未使用」「未接続」「異常発生中」「ランプ交換要」があります。標準グループは、設定内容を変更したり、削除することはできません。 「異常発生中」や「ランプ交換要」に分類されたプロジェクターは、状態を確認して適切な処置を行ってください。なお異常への対処やランプの交換方法は、プロジェクターの使用説明書を参照してください。
ステータスグループ	プロジェクターの状態に応じて自動的に分類表示するグループです。プロジェクターの設置場所や状態を指定してグループを作成することができます。ステータスグループは、条件を変更したり、削除することができます。 例)「フィルター清掃グループ」「本館 1 階グループ」など
ユーザーグループ	任意のプロジェクターを分類表示するグループです。プロジェクターの状態を 1 つも指定せずにグループ名称のみを登録すると、ユーザーグループになります。ユーザーグループは、名称を変更したり、削除することができます。 ユーザーグループは、移動先またはコピー先のサブメニューとして表示され、任意のプロジェクターをグループに追加することができます。 例)「営業部管理グループ」「総務部管理グループ」など

### 2.4.2 プロジェクターグループを作成する

プロジェクターグループを作成する場合は、次の手順で操作します。

#### 1 [グループ] メニューの [新規追加] を選択します。

「プロジェクターグループの新規作成」画面が表示されます。

## 2 グループ名を入力し、必要なプロジェクター条件項目にチェックマークを付けて条件を入力します。

1つ以上の条件項目を選択すると「ステータスグループ」、条件項目を1つも選択しないと「ユーザーグループ」になります。

項 目	説 明
グループ名	名称を 20 文字以内で入力します。
製品名	プロジェクターの製品名称を入力します。
プロジェクター名	任意のプロジェクター名を全角または半角文字で入力します。
設置場所	プロジェクターの設置場所を全角または半角文字で入力します。
状態	プロジェクターの使用状態を「未接続」／「未使用」／「使用中」から選択します。
異常	プロジェクターの状態を「あり」／「なし」から選択します。
ランプ	ランプの状態を「正常」／「準備」／「交換」／「準備または交換」／「異常」から選択します。
ランプ使用時間 (換算値)	ランプの使用時間を 0～99999 の数字で入力し、「以上」または「未満」を選択します。
エアフィルター	エアフィルターの状態を「正常」／「清掃」／「交換」／「清掃または交換」／「異常」から選択します。
エアフィルター 使用時間	エアフィルターの使用時間を 0～99999 の数字で入力し、「以上」または「未満」を選択します。

## 3 入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

プロジェクターグループがプロジェクターグループリストに追加されます。

### Note

- 入力内容に不足や不正な値がある場合は、エラーメッセージが表示され、登録することはできません。入力内容を修正してください。
- [OK] ボタンをクリックする前に [×] (閉じる) ボタンをクリックしたり、[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、入力内容が無効となります。

### 2.4.3 プロジェクターグループの設定内容を変更する

作成した「ステータスグループ」および「ユーザーグループ」の設定内容は、変更することができます。「ステータスグループ」の条件項目をすべて削除した場合は、自動的に「ユーザーグループ」となります。また、「ユーザーグループ」に条件項目を設定した場合は、自動的に「ステータスグループ」となります。

#### Note

- ・「標準グループ」の条件を変更することができません。必要な条件項目に条件を設定したプロジェクターグループを作成してください。

プロジェクターグループの設定内容を変更する場合は、次の手順で操作します。

- 1** プロジェクターグループリストで変更するプロジェクターグループ名を選択して、[グループ] メニューの[変更]を選択します。

「プロジェクターグループの編集」画面が表示されます。

- 2** 必要なプロジェクター条件項目やグループ名を変更します。

いずれかの1つ以上の条件項目を選択すると「ステータスグループ」、条件項目を1つも選択しないと「ユーザーグループ」になります。

- 3** 入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

入力した設定内容がプロジェクターグループに反映されます。



## 2.4.4 プロジェクターグループを削除する

作成した「ステータスグループ」および「ユーザーグループ」は、削除することができます。

### Note

- ・ 「標準グループ」を削除することができません。

プロジェクターグループの設定内容を変更する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターグループリストで削除するプロジェクターグループ名を選択して、[グループ] メニューの[削除]を選択します。
- 2 確認メッセージ画面の内容を確認して[はい] ボタンをクリックします。



選択したプロジェクターグループが削除されます。

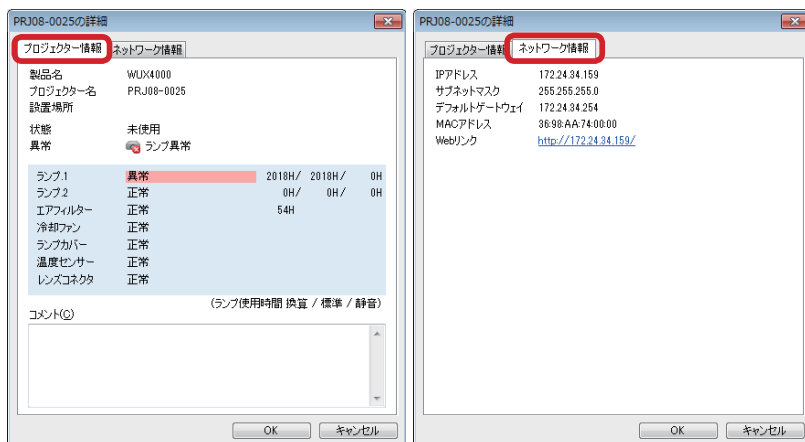
## 2.5 プロジェクターリストの操作

### 2.5.1 プロジェクターの情報を見る

プロジェクターリストに表示されているプロジェクターの詳細情報を確認するときは、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストで詳細情報を表示するプロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [プロジェクター情報] を選択します。

そのプロジェクターの詳細情報画面が表示されます。



[プロジェクター情報] タブ画面では、プロジェクターの名称や設置場所、状態、ランプ交換、エアフィルター清掃・交換の情報が表示されます。[ランプ使用時間 換算] の値は、寿命を配慮した値です。[ランプ使用時間 標準] と [ランプ使用時間 静音] を加算すれば、通算の使用時間となります。

[ネットワーク情報] タブ画面では、プロジェクターのネットワーク設定情報が表示されます。Web リンクの IP アドレスをクリックして、プロジェクターの Web 設定画面を表示することができます。

#### Note

- プロジェクター名をダブルクリックして、プロジェクターの詳細情報画面を表示することもできます。
- 製品により [ネットワーク情報] タブ画面の以下のネットワーク設定情報が表示されない場合があります。

サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、MAC アドレス

- 機種によっては設置場所が表示されないものがあります。

## 2.5.2 コメントを入力する

各プロジェクターに連絡先やメンテナンス記録などのコメントを入力する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストで詳細情報を表示するプロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [プロジェクター情報] を選択します。

そのプロジェクターの詳細情報画面が表示されます。

- 2 コメント欄をクリックし、コメントを入力します。  
コメントは 256 文字まで入力できます。

PRJ08-0025の詳細

プロジェクター情報 ネットワーク情報

製品名 WUDK4000  
 プロジェクター名 PRJ08-0025  
 設置場所  
 状態 未使用  
 異常 ランプ異常

ランプ	状態	2018H /	2018H /	0H
ランプ1	異常	2018H /	2018H /	0H
ランプ2	正常	0H /	0H /	0H
エアフィルター	正常	54H		
冷却ファン	正常			
ランプカバー	正常			
温度センサー	正常			
レンズコネクタ	正常			

(ランプ使用時間 換算 / 標準 / 静音)

コメント(C)  
 コメント

OK キャンセル

- 3 コメントを入力したら、[OK] ボタンをクリックします。

入力したコメントが保存されます。

### 2.5.3 プロジェクターの設定画面を表示する

プロジェクターリストに表示されている各プロジェクターの Web 設定画面を表示する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストでプロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [Web リンク] を選択します。

ブラウザが起動して、そのプロジェクターの Web 設定画面が表示されます。

#### Note

- Web 設定画面の操作については、各プロジェクターの使用説明書を参照してください。

### 2.5.4 プロジェクターリストを設定する

プロジェクターリストには、ネットワーク上で一度認識された対応プロジェクターがすべて表示されます。プロジェクターリストでは、未接続のプロジェクターを削除したり、プロジェクターを別のユーザーグループに移動／コピーすることができます。

#### ■ プロジェクターを削除する

未接続のプロジェクターを削除する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストで不要な未接続プロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [削除] を選択します。
- 2 削除メッセージの内容を確認して [はい] ボタンをクリックします。



選択したプロジェクターがプロジェクターリストから削除されます。

#### ■ プロジェクターを別のユーザーグループへ移動する

選択したプロジェクターを別のユーザーグループに移動する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストで移動するプロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [移動] から移動先ユーザーグループ名を選択します。

選択したプロジェクターが指定したユーザーグループへ移動されます。

## ■ プロジェクターを別のユーザーグループにコピーする

選択したプロジェクターを別のユーザーグループに登録する場合は、次の手順で操作します。

- 1 プロジェクターリストでコピーするプロジェクター名を選択し、[プロジェクター] メニューの [コピー] からコピー先ユーザーグループ名を選択します。

選択したプロジェクターが指定したユーザーグループにも登録されます。

## 2.5.5 プロジェクターを探索する

新たにネットワークに接続プロジェクターを手動で認識させる場合は、次の手順で操作します。

- 1 [表示] メニューの [プロジェクターの探索] を選択します。

ネットワーク上を探索し、新たに認識したプロジェクターがプロジェクターリストに表示されます。

### Note

- ・ プロジェクターの探索処理を中止したい場合は、[表示] メニューの [プロジェクター探索/状態更新の中止] を選択してください。

## 2.5.6 プロジェクター情報を更新する

プロジェクターリストに表示されているプロジェクターの最新情報を表示する場合は、次の手順で操作します。

- 1 [表示] メニューの [プロジェクター状態の更新] を選択します。

プロジェクターリストに最新のプロジェクター情報が表示されます。

### Note

- ・ プロジェクター情報の更新処理を中止したい場合は、[表示] メニューの [プロジェクター探索/状態更新の中止] を選択してください。

## 2.5.7 プロジェクターのプロトコルを設定する

プロジェクター側でネットワークの設定を変更すると、プロジェクターリストの表示が「未接続」になることがあります。その場合は「未接続」と表示されたプロジェクターのプロトコル設定を、変更したネットワーク設定の内容に合わせて修正してください。

### 1 [プロジェクター] メニューの [プロトコル設定] を選択します。

「プロトコル設定」画面が表示されます。

### 2 [プロトコル] で使用するプロトコルを選択し、変更された項目を修正します。

項 目	説 明
IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
コミュニティ名 (SNMP V1/V2c/V3 のみ)	コミュニティ名を半角英数記号 15 文字以内で入力します。
ポート番号 (LV シリーズのみ)	使用するポート番号を半角数字で入力します。初期値は「7142」になっています。
タイムアウト	タイムアウト秒数を 1 ～ 9 の数字で入力します。
パスワード (SNMP V3 のみ)	パスワードを半角英数記号 8 ～ 15 文字で入力します。 * プロトコルを変更するとパスワードがリセットされます。
暗号化を有効にする (SNMP V3 のみ)	暗号化している場合はチェックを付けます。暗号化していない場合はチェックを外します。

#### Note

- 入力内容に不足や不正な値がある場合は、エラーメッセージが表示され、登録することはできません。入力内容を修正してください。
- [OK] ボタンをクリックする前に [×] (閉じる) ボタンをクリックしたり、[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、入力内容が無効となります。
- プロジェクターの IP アドレス変更直後は、プロジェクターと接続できない場合があります。しばらくしてからプロジェクター情報を更新してください。

### 3 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

プロジェクターのプロトコル設定が変更されます。

# 第3章 付録

## 3.1 困ったときは

### ■ エラーメッセージが表示された

エラーメッセージ	対処
エラーが発生したため、アプリケーションを起動できません。アプリ起動エラー：「11XX」 または エラーが発生したため、アプリケーションを起動できません。アプリ起動エラー：「12XX」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本ソフトウェアを再起動してください。</li> <li>・再起動後もエラーメッセージが表示される場合は、本ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールしてください。</li> </ul>
プロジェクターの探索中にエラーが発生しました。プロジェクター探索エラー：「1301」 または プロジェクターの更新中にエラーが発生しました。プロジェクター更新エラー：「1301」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理用コンピューターとネットワークがLAN ケーブルで接続されていることを確認してください。</li> <li>・管理用コンピューターのネットワークが適切に設定されていません。プロジェクターと通信できるようにネットワークの設定を行ってください。</li> </ul>

### ■ プロジェクターが見つからない

原因	対処
プロジェクターがネットワークに接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターとネットワークがLAN ケーブルで接続されていることを確認してください。</li> </ul>
プロジェクターのネットワーク機能が正しく設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターの[ネットワーク機能]が「入」になっているか確認してください。</li> <li>・IP アドレスおよびネットワークの設定を確認してください。</li> </ul>
プロジェクター側で SNMP 設定が行われていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターが SNMP に対応している場合は、プロジェクター側で SNMP の設定を行ってください。SNMP の設定方法は、プロジェクターの使用説明書を参照してください。</li> </ul>

原因	対処
「探索設定」の項目が正しく設定されていない	<p>・ プロジェクター本体の IP アドレスを確認し、探索設定を行ってください。</p> <p>● プロジェクターが SNMP に対応している場合 「探索設定」画面の「ブロードキャスト」タブで、プロジェクターが含まれるネットワークのブロードキャストアドレスを追加するか、「IP アドレス範囲」タブでプロジェクターの IP アドレスが含まれるように設定してください。(→ P.6, 7, 8) なおプロトコル名 ([SNMP V1]/[SNMP V2c]/[SNMP V3])、「コミュニティ名」、「パスワード」をプロジェクター側のネットワーク設定と同一にしないと、プロジェクターとの通信はできません。</p> <p>● プロジェクターが LV シリーズに対応している場合 「探索設定」画面でプロジェクターの IP アドレスを追加してください。(→ P.9)</p>
プロジェクターのネットワーク設定と、本ソフトウェアのプロトコル設定が異なる	<p>・ プロジェクター側の SNMP の設定に合わせて、本ソフトウェアの探索設定またはプロトコル設定を行ってください。SNMP のバージョンやコミュニティ名、パスワードが一致していないと、本ソフトウェアはプロジェクターと通信できません。</p>
管理用コンピューターのファイアウォールが設定されている	<p>・ 本ソフトウェアのインストール時に「Windows ファイアウォール」への登録を行います。ウィルス対策ソフトウェアに含まれる他のファイアウォールの動作中は、本ソフトウェアとプロジェクターの通信ができない場合があります。本ソフトウェアが通信できるように、ウィルス対策ソフトウェアなどの設定を行ってください。なお設定方法については、各ソフトウェアの使用説明書を参照してください。</p>

## ■ プロジェクターが「異常発生中」に分類された

原因	対処
プロジェクターに異常が発生している	<p>・ プロジェクターグループリストの「異常発生中」に分類されたプロジェクターについては、詳細情報画面でプロジェクターの状態を確認してください。異常の詳細については、各プロジェクターの使用説明書を参照してください。</p>



## 3.2 WUX10 における使用上の注意事項

WUX10 は、「入力」、「設置場所」が表示されないことがあります。その場合、プロジェクターの「ランプ異常」、「電源異常」が発生しても本ソフトウェアに表示されません。

(2012 年 2 月現在)

